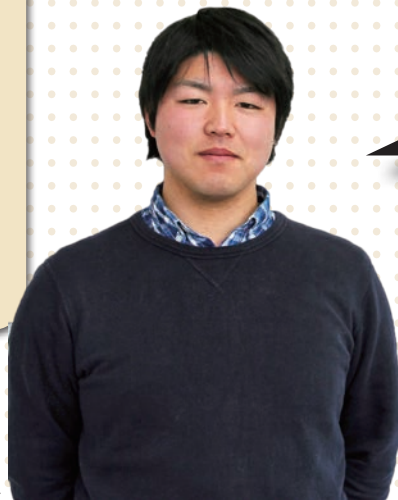


データで見る兵教生

～平成25～27年度ボランティアステーション学生活動実績データから検証～

兵教生とボランティア活動



粘り強く関わることの
大切さを学びました

4年間の活動を通してさまざまな子どもたちと出会い、関わり方にたくさん悩みました。しかし、粘り強く関わり続けると子どもたちは必ず応えてくれ、そのことが何よりうれしかったです。また、活動先のスタッフの方々や共に活動する仲間の支えも大きく、人と人のつながりの温かさも学びました。これらの経験を大切に、春から先生として頑張ります。一人の人間として、子どもや保護者と粘り強く関わり、つながっていく、そんな先生を目指します！

活動の多くは教育関連 学生自身が成長する機会にも

平成25(2013)年4月にオープンしたボランティアステーションの登録者数はこの3年間で2・4倍に、活動派遣実績もほぼ3倍に増えている。兵教生に求められる活動内容は、不登校の児童生徒への支援や生涯学習、福祉活動など、やはり教育に関連したものが多し。参加した学生たちは、多くの子どもや人々と接することで着実に成長するとともに「学び続ける教員」の素地をつくっているようだ。

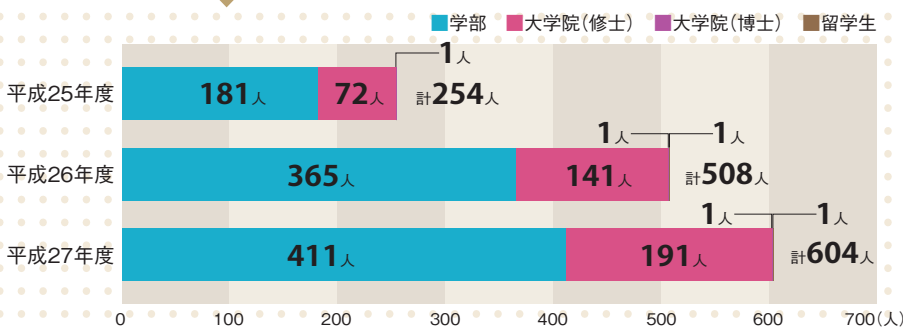
兵庫教育大学におけるボランティア活動は「教員としての人づくり」の場の一つであるとともに、学生と地域を、理論と実践を、自分と未来を「つなぐ」活動となっている。

HYOKYO'S DATA

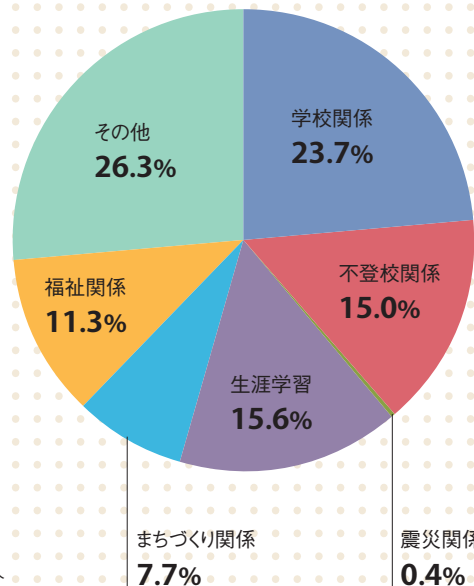
ふじなみこうだい
藤浪航大さん

学校教育学部社会系コース4年

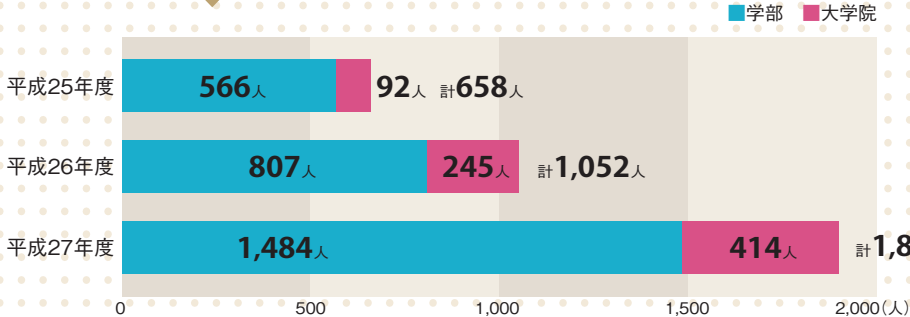
ボランティアステーション登録者数データ



学生ボランティア派遣内訳(平成27年度)



ボランティアステーション学生派遣推移(延べ人数)



いたくらかな
板倉加菜さん

学校教育学部
学校心理系コース2年
ボランティアステーション
学生スタッフ委員長

楽しく活動しながら
多くのことを
学んでいます

ボランティアステーションや先輩の紹介などで活動に参加していくうちに、ボランティアの楽しさに気づきました。いろいろな経験ができ、子どもや人との関わりの中で学ぶことはたくさんあります。時には悩むこともありますが、ボランティアステーションが支えになっていますし、相談に乗ってくれる仲間や先輩、応援・協力してくれる人たちののおかげで頑張ることができます。これからも活動を通じていろいろなつながりを持ちながら成長していきたいです。